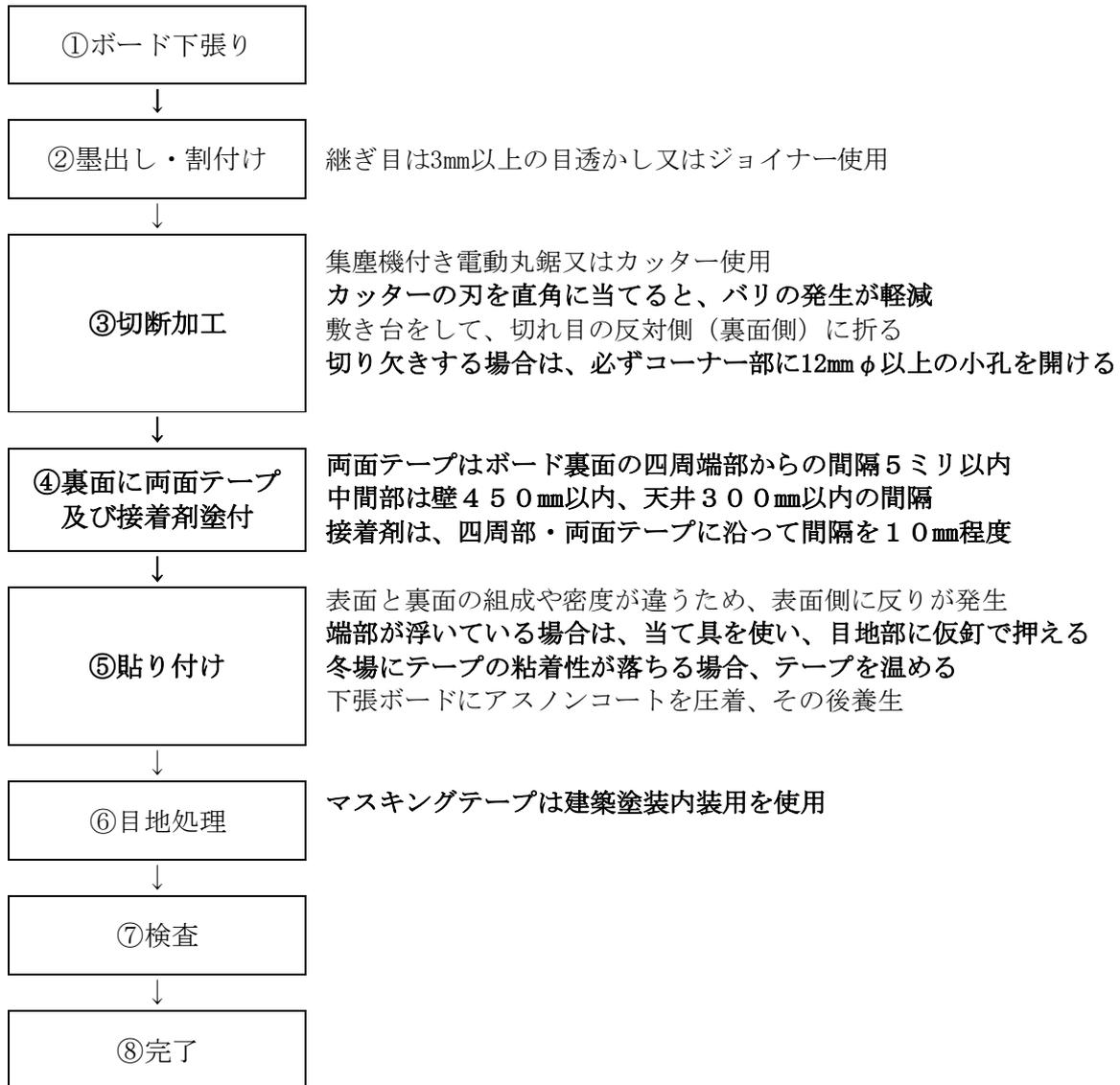


## アスノンコート 施工要領書

エヌビーエル株式会社

### ■施工手順



\*保管注意：表面を合わせ間に合紙を挟んだままで保管、奇数枚になる場合は化粧面を下になるように積む。

## ■施工上の注意点

### 1) 切断加工・穴開け加工

切断には、集塵機付き電動丸鋸（チップソー又はダイヤモンド）を使用してください。カッターを使用する場合は、定規を当て刃で軽く筋目を入れた後に、数回繰り返して深く切れ込みを入れてください。又、カッターの刃を直角に当てると、バリの発生が軽減されます。穴開けはハンドドリル又は電動ドリルを使用してください。配管や配線用の穴はホールソーで開けるか、ドリルで小穴を開けた後ジグソー等で切断してください。L型や口型中抜き等の切り欠きはできるだけ避けてください。クラック発生の原因になります。やむを得ず切り欠きを入れる場合は、必ずコーナー部に12mmφ以上の小孔を開け、コーナーをRにして切断してください。

#### 切断加工の注意事項

- ・切断には集塵機付き電動丸鋸をお勧めしますが、カッターを使用する場合は、定規を当てて最初刃先で軽く筋目を入れてから直角に数回深く（化粧面へ板厚の1/3（2mm）以上）切れ込みを入れて下さい。
- ・必ず、敷き台をして切れ目の反対側（裏面側）に折って下さい。



- ・切り込み深さが浅いと一般部で割れる危険性がありますので、注意して下さい。
- ・切断面の小口はカッター施工の場合必ずバリが発生しますので、サンドペーパー等で面取りを行ってください。

### 2) 裏面に両面テープ及び接着剤塗布

アスノンコート裏面の埃を、ウエス等できれいに拭き取ってください。両面テープはアスノンコート裏面の四周端部からの間隔を5ミリ以内に、また中間部は壁450mm以内、天井300mm以内の間隔で張り、強く押さえこむようにアスノンコートに密着させてください。接着剤は、四周部については両面テープに沿って両面テープとの間隔を10mm程度に塗布して下さい。中間部も同様に塗布して下さい。接着剤は150g/m<sup>2</sup>程度を目安に直径8mm以上のビート状に塗付して下さい。

#### 接着施工の注意点

- ・アスノンコートは表面と裏面の組成や密度が異なるため、表面側に反りが発生します。従って接着施工の際は特にボード周辺部の接着性が重要になります。両面テープはボード四周の端部から5mm以内（端部ギリギリ）の部分の全周囲に、しわの出ないように貼りつけてください。ボード中心部へのテープ貼りは壁施工で1ライン、天井施工で2ライン以上必要です。
- ・両面テープはアスノンコートの裏面に貼り付けた後、樹脂ローラー等でアスノンコートの裏面に圧着してください。
- ・接着剤の塗布は四周部の両面テープの内側10mm程度の部分にしっかりと連続して厚く盛り上げる様に行ってください。接着剤の使用量はおおむね3×8板で333mm<sup>2</sup>カートリッジ1本の使用が目安です。
- ・接着剤の塗布量が少ない場合、施工後に剥れの原因になります。
- ・接着剤は、両面テープに付着しないようにしてください。これも、施工後に剥れの原因となります。

### 3) 貼り付け

両面テープと接着剤を塗布したアスノンコートを、下張ボードに圧着してください。30～40分経過後、再度表面より十分に圧着してください。端部が浮いている場合は、当て具を使い、目地部に仮釘で押えてください。尚、貼り付け後にずらし等の位置修正はできませんので、注意して貼り付けてください。圧着後24時間以上の養生時間を確保してください。

\* (注意) 冬場に外気温が下がると両面テープの粘着性が著しく落ちる場合があります。その際は、テープを温める等の対応で、粘着性を確保して下さい。

### 4) 目地処理 (シーリング工法の場合)

アスノンコートの小口にプライマー処理を行い十分に乾燥させ、目透かし部分に目地処理を行ってください。目地処理は接着剤の硬化後、施工後少なくとも24時以上経過してから行ってください。その際、マスキングテープは建築塗装内装用を使用してください。ガムテープ・ビニールテープなどは使用しないでください。

■推奨副資材	接着剤	エヌビーエル専用接着剤(セレクトィMS-100 変性シリコン系) コニシ MPX-1、PX3100F セメダイン ボードロックSF タイルメント MK-710
	両面テープ	エヌビーエル専用両面テープ(セレクトィ仮止め用両面テープ) コニシボンド MPXテープ/Vタック セメダイン ボードテープ310 タイルメント ボードタック

\* 上記の接着剤、両面テープは推奨品です。下地や施工条件によって、施工性と性能は異なりますので、エヌビーエル専用品以外の推奨品をお使いの場合は、接着剤メーカーにご確認ください。

\* 尚、両面テープ・接着剤はアスノンコート用専用品を弊社でも用意しておりますのでご用命ください。

### ■取扱注意事項

#### ・保管方法

製品は直接床に置かず、パレットや栈木を用いて、屋内の平らな場所に水平に保管してください。保管の際は、表面を合わせ間に合紙を挟んだままで保管ください。奇数枚になる場合は、化粧面を下になるように積み、一番上には保護用の当て板を載せてください。又、立てかけての保管は絶対にしないでください。

#### ・取り扱い

持ち運びは板の中心を持ち、面を垂直にして端部の破損を防ぐ等、注意し乱暴な取り扱いを避けてください。特に一点に加重がかかる様な取り扱いをしますと、表面に目に見えない微細なクラックを生じさせる原因となります。又、素手で扱うと手の脂分が付きますので、取り扱いには手袋を使用してください。

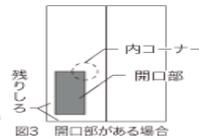
### 施工上の注意

(1) 割付 アスノンコートを手廻りに張る場合、L型の切欠き(図1)は避け、図2の割付を原則としてください。

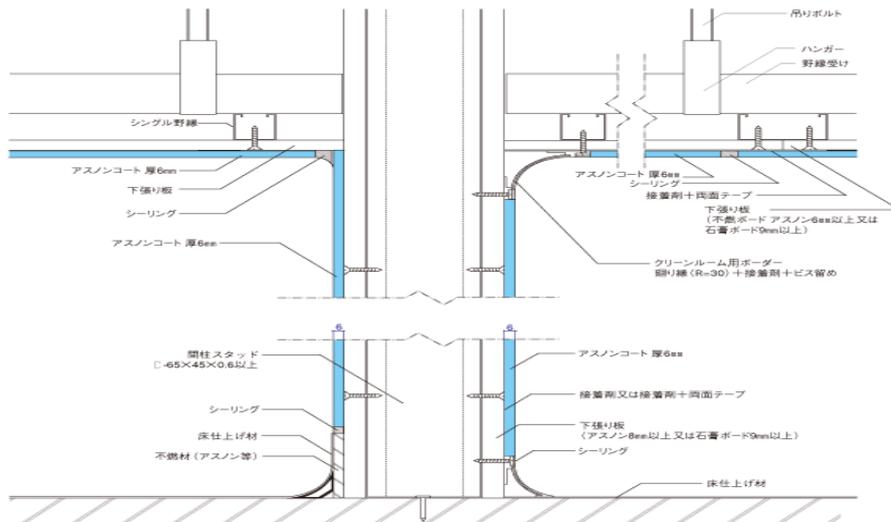


(2) 切欠き

- 切欠き部分(内コーナー)は5F程度取るようにしてください。
- 壁・天井面が空調の圧力により動きが予想される場合や残りしろが小さい場合(図3)はコーナー補強(化粧板 表面に金属板を貼付け)を行ってください。
- 残りしろの小さい(100mm以下)施工はできるだけ避けてください。



### ■ クリーンルーム内装例



### ⊘ 禁止事項

- 直射日光、雨、湿気が多い場所に保管しないでください。立てかけ保管も禁止です。  
⇒ パレット等の上に平置きしてください。
- 平置きの際は、塗装面を上に（オープンに）しないでください。塗装面が反ります。  
⇒ 塗装面を下向きにして、上に当て板等を載せてください。
- カッター切断の場合、カッターの刃を斜めに入れないでください。  
⇒ 刃を板に直角に当てると、バリの発生が軽減できます。
- 切り欠きは極力避けてください。コーナー部からクラック発生の原因となります。  
⇒ 止むを得ず、切り欠きする際は必ずコーナー部に12mmΦ以上の孔を開けてからカットしてください。
- 外気温の低い、低温環境下で施工しないでください。両面テープが付きません。  
⇒ 施工環境を加温し、テープを温めて施工してください。
- 両面テープを張る位置は、ボードの端部からあまり離さないでください。  
⇒ 四周端部から5mm以内に、正確に張ってください。
- 接着剤は、塗布後あまりそのまま放置しないでください。  
⇒ 規定以上の量をビート上に塗布した後、すぐ圧着してください。
- 養生テープとして、ガムテープやビニールテープを使用しないでください。  
⇒ 粘着力の大きいテープは塗膜を痛めます。建築塗装内装用を使用してください。